

議会風景



▶ 令和元年7月 一般質問



▶ 同左



一般質問（いさやまの質問項目）

○ふるさと納税について

ふるさと納税制度は地方の活性化につなげる目的で故郷を含めた自治体に寄附できるという制度である。昨今、高額な返礼品を目玉に寄附を集める自治体が相次ぎ、本来の趣旨から逸脱した問題点も指摘されてきた。このたびの地方税法等の改正により、全国のふるさと納税制度が大きく変わった。

1. 返礼品調達費用を寄附金額の3割以下とする。
2. 返礼品は当該自治体地場産品に限る。
3. 自団体の住民（神戸市民）への返礼品などの提供を禁止する。

この点を踏まえて、神戸市としてどのように対応していくのかを質疑。



▶ 返礼品で人気の神戸牛

これから健全な運用を行ってきた団体同士の競争になることと、神戸ビーフ、スイーツ、灘の酒など神戸市には地場産品が豊富であることから、プラスの改正ではないか。

しかし、平成30年度の実績では、神戸市が受け入れた寄附の額は4億2,400万円程度に対し、流出額は44億7,100万円にのぼる。市民や社会のために貢献をしているということを共感できる魅力あるメニューをつくり、全庁一丸となって取り組んでいきたい、という力強い市長答弁を頂く。

モノからコトへ。体験型の返礼品の充実を提案した。

○「食の多様性」への配慮について

「食の多様性」とは、世界の食文化や食習慣、宗教等による特徴的な食品や料理が多様に存在することを指すがベジタリアンなど健康上の志向に基づくものや、アレルギーなど医療的な制限も含めて捉える場合もある。

神戸市の学校給食では、昨年からは食材の絵文字（フードピクト）を用いたアレルギー対応を行っている。

ラグビーワールドカップ2019の開催を迎える神戸市において、確実に増加が見込まれる神戸を訪問する外国人旅行者に対して、このような手法を用いるなど「食の多様性」に配慮した対応をすべきと質疑。

このフードピクトは先日開催された「G20大阪サミット」においても採用され、会場内レストランで提供される全てのメニューにフードピクト付メニューカードの表示がなされていた。

神戸観光局のプラットフォームを生かし、

フードピクトの活用について取り組んでいきたい、とのこと。



▶ G20大阪サミットの会場内レストラン

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp

討議資料